【平成 29 年度　コミュニティ・スクール太宰府西小学校　校長通信】　No.2

# まほろばの丘から

平成 29 年　5 月 16 日　文責　校長　古賀　淳子

本年度の重点目標は、主体的に考え、行動する子ども

鍛えてほめて自信をもたせ、学力と人間関係力を育成する

新学期が始まって１ヵ月が過ぎました。新しい学級にも慣れ、「運動会」を成功させるという目標に向かって、児童も教師も頑張っているところです。

『ジグソーパズル型学力』と『レゴ型学力』という言葉を耳にされたことはありますか？これは、現奈良市立一条高等学校校長の藤原和博先生が「よのなか科」の講義の中でお話されていることです。私たち教員や保護者の皆様の大半の方は、『ジグソーパズル型学力』を身につける教育を受けてきました。ジクソーパズルはあらかじめ完成の姿が決まっていて、ピースを正確に早く埋めることが必要です。ですから、「正解」を速く言い当てるために努力してきました。ところが、２１世紀に必要な学力は『レゴ型学力』なのです。

社会の変化に伴って、「正解」を言い当てる力よりも、「納得解」を作り出す力が求められるようになってきました。つまり、正解は一つではなく、自分が納得する解や他者を納得させる解を求めることが必要となります。それには自分の持っている知識や技術すべてを使って組み立てる「レゴブロック」をつくるときのような力をつかいます。創造的に、自分でつくりだすのです。

本校では、本年度の重点目標を『主体的に考え、行動する子ども』とし、自分でできることは自分でする、その良さややり方がわかるようになったら自分から進んでする、目的や相手を意識して喜んで行動する、など、学年の子ども達の成長に合わせて指導していきます。ご家庭でも、２１世紀型社会を生きるお子さまのために、ぜひ、『レゴ型学力』の育成に挑戦していきましょう。

| ２０世紀 | ２１世紀 |
|---|---|
| 成長社会 | 成熟社会 |
| 「みんな一緒」の感覚が強い時代 | 「それぞれ一人一人」の感覚が強い時代 |
| 情報処理力 | 情報編集力 |
| 「正解」を言い当てる力 | 「納得解」を作り出す力 |
| ジクソーパズル型（学力） | レゴ型（学力） |

姉妹校交流に向けての取り組みがスタートしています。６月９日に実施する交流集会では、「琴・日本舞踊クラブ」「３年生花笠音頭」「４年生沖縄民謡」のステージ発表を行います。また、記念品として、絵手紙や折り紙、手芸クラブの作品をプレゼントする予定です。各学年の体験学習授業の内容は、ただいま検討中、とても楽しみです。